

第33回日本助産学会 学術集会

日程：3月2日(土)～3日(日)

会場：福岡国際会議場(福岡市博多区)

テーマ：世界に躍進する日本の助産—いのちの担い手、愛と知と技

プログラム：

【3月1日(金)】

プレコングレス

【3月2日(土)】

会長講演「世界に躍進する日本の助産—いのちの担い手、愛と知と技」谷口初美(九州大学大学院医学研究院保健部門)／特別講演：Frances Day-Stirk(前 ICM 会長)／教育講演1「日本の助産師モデル」山本詩子(日本助産師会会長)／市民公開講座1「スマホに子守りをさせないで！—赤ちゃんが健やかに育つために」佐藤和夫(国立病院機構九州医療センター小児科)／市民公開講座2「子どものこころの発達：児童虐待と傷について脳」友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター発達支援研究部門)

【3月3日(日)】

教育講演2「助産学の新たな風と精神保健への役割」吉田敬子(医療法人風のすずらん会メンタルクリニックあいりす)／教育講演3「産科診療における超音波の役割」吉里俊幸(久留米大学医学部産婦人科学講座)／教育講演4「助産師教育におけるシミュレーション教育の可能性」阿部幸恵(東京医科大学医学部看護学科)／シンポジウム1「周産期メンタルヘルスの取り組み」／シンポジウム2「世界へ発信する日本の助産—アジアからアフリ

カ地域に向けて」／シンポジウム3「自律した助産師の育成」／ワークショップ「ガイドラインをどう実践に活かしていくか—実装研究(Implementation research)の活用」／交流集会1「日本だけじゃない！ 世界が注目 東洋医学！—鍼灸師が伝えたいツボの基礎」／交流集会2「院内助産・助産師外来の推進とアドバンス助産師の活動」／交流集会3「助産政策委員会の活動と2020年診療報酬改定に向けた要望の検討」／交流集会4「乳腺炎重症化予防—乳房ケアの技を身につけるためのヒントを探る“乳房モデル”を持参して、痛くない乳房ケアを学ぼう！」／交流集会5「明日から使える！ 冷え症ケアの『技』」(プログラムは変更追加の可能性あり)

参加費：会員 1万3000円、非会員 1万5000円、学生 5000円(学生証コピーを提出)、懇親会費用 8000円

申込方法：当日、受付にて。

問い合わせ先：運営事務局(株式会社コングレ九州支社)

☎ 092-716-7116

FAX 092-716-7143

✉ jam33@congre.co.jp

第3回新生児生命倫理研究会

日時：3月9日(土)

10:00～17:00(受付 9:30～)

会場：東京大学情報学環福武ラニングシアター(東京都文京区)

対象：医療関係者

プログラム：講演1「出生前診断は誰のため？—私たちの優生思想」加部一彦(埼玉医科大学総合医療センター教授)／講演2「臨床倫理

コンサルテーションシステムの構築と新生児ケースへの適用」瀧本禎之(東京大学医学部附属病院臨床倫理センターセンター長)／特別講演「遺伝情報といのちの権利—バイオエシックスのアプローチ」木村利人(早稲田大学名誉教授、ジョージタウン大学ケネディ倫理研究所特別研究員)／講演3「親の治療拒否事例における親権停止の現状」横野恵(早稲田大学社会科学部准教授)／症例検討「倫理的意思決定に苦慮した2～3症例」

参加費：無料

申込方法：下記 E-mail アドレスに参加希望のメールを送付

問い合わせ先：東京大学小児・新生児集中治療部 新生児生命倫理研究会事務局 高橋尚人

☎ 03-5800-8659

✉ nicu-office@umin.org

HP <http://nicu.umin.jp>

国際母子ケア協会認定 ベビーマッサージ インストラクター コースセミナー

日程：

【3月コース】3月13日(水)、3月14日(木)

【6月コース】6月12日(水)、6月13日(木)

会場：アクエリエル京都(京都市北区)

対象：助産師、看護師

内容：ベビーマッサージだけでなく、生後すぐから取り入れられるベビーマッサージのハンドリングテクニックなども併せて指導します。赤ちゃんの姿勢運動発達を援助でき、専門家としての知識と技術、指導ができるようお教えします。

定員：各8名

参加費：9万円

申込方法：メールにて件名「ベビーマッサージ〇月受講希望」と明記し、本文に①氏名、②住所、③電話番号をご記入のうえ、下記アドレス(IAMB事務局)に送信。

✉ info@iamb.jp

問い合わせ先：

☎ 075-468-7082

HP www.iamb.jp

**公益信託山路ふみ子
専門看護教育研究助成基金
第29回(2019年度)
研究助成候補者募集**

申請締切日：3月22日(金)

研究助成の主旨：看護学の諸分野の研究に対する助成を行い、もって看護の質的向上を通じ、人々の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。特に看護実践の科学的根拠の確立、看護方法論の開発と評価及び看護学の基盤となる研究を助成する。2019年度は、先端科学技術や周辺科学の知と看護学諸分野とを繋ぎ社会に発信できる創造的研究を期待している。なお、軍事に資する研究については助成しない。

助成金交付予定額および助成金使用期限：

- 1件150万円以内で、約20人に交付する予定。助成金使用期限は、大学院博士後期課程、または5年一貫博士課程の修了予定日まで。博士課程修了後の研究生の場合は研究終了時までとする(但し、最長3年)。
 - 助成金の使用内訳に際しては、以下の制限あり。
- ア. パソコン等のハード購入費は

20万円以内とすること。

イ. 下記の費用は助成対象としない。

授業料、学会参加費、論文作成費(英訳を含む)、データ入力およびテープ起こし等に対する謝金。

応募資格：次の全ての条件を満たす者とする。

- 日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師
- 国内または国外の大学院博士後期課程または5年一貫博士課程の正規生、もしくは博士課程修了後の研究生(いわゆるポスドク)として在学中で、看護学の諸分野を研究中的者
- 看護学の探求に熱意を持ち、将来看護学の教育、実践または研究に携わる意志を持つ者
- これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者

なお、給与収入(フルタイム)がある者、2019年4月時点で大学院博士後期課程1年生、5年一貫博士課程1、2年生は、原則として応募資格を有さない。

応募方法：所定の申請書(1通)を当公益信託の受託者(下記)に提出すること(志望者が、受託者宛に直接郵送すること)。

- 各用紙への記入はPC等活字入力によるものとする(手書禁止)。
- 所定の申請書以外に書かれたものは、審査対象としない。様式を変更したり、複数ページに記入した場合は、応募は無効とする。また印刷はA4用紙4枚・片面印刷とすること(両面印刷不可)。
- 書類は返却しない。
- 申請書は、以下のホームページの公益信託の募集案内一覧の

ページからダウンロードすること。

HP <https://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

助成金受給者の義務：

- 研究成果の報告書(会計報告書を含む)を助成金使用期限までに当公益信託の受託者(下記)に提出すること。
- 学位論文完成時(研究生は研究終了時に)、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出すること。
- 学位論文およびその他研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金より助成を受けた」旨を記載のこと。
- 当公益信託の事業において、研究成果の報告を依頼する可能性が有る。

受託者：三井住友信託銀行個人資産受託業務部公益信託グループ公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金申請口

☎ 03-5232-8910 (受付：平日9～17時)

FAX 03-5232-8919

審査方法ならびに通知：当公益信託の運営委員会で、書類による審査のうえ採否を決定し、結果は5月上旬頃までに志望者に通知する[5月24日(金)17時から贈呈式を予定]。

埼玉県立大学研究開発センター研究推進セミナー

日時：3月23日(土)

13:00～16:00(受付12:30～)

会場：埼玉県立大学 北棟343(埼玉県越谷市)

テーマ：臨床実践をより良くする研究の発展に向けて—実践と研究のコラボレーション

プログラム：「臨床現場における実践者および研究者としての研究の実際」松原康美(北里大学看護学部准教授、北里大学病院がん看護専門看護師)／「臨床における研究活動の実際—がん専門病院の実例を通して」市川智里(国立がん研究センター東病院看護部看護師長、がん看護専門看護師)／「臨床現場で看護研究を推進するための取り組み—看護学部と看護部の協働を模索する」山内典子(東京女子医科大学八千代医療センター精神看護専門看護師)／「オレムセルフケア理論を臨床で活用するための大学との協働—臨床に根付かせるための研究としての取り組み」近藤美和子(埼玉県立小児医療センター看護部小児看護専門看護師)

定員：80名(先着順)

参加費：無料

申込方法：下記ホームページのフォームより。

HP <https://goo.gl/forms/q08Qbi6SViTuKbzx1>

問い合わせ先：埼玉県立大学研究開発センター

☎ FAX : 048-973-4383

✉ Research_c@spu.au.jp

わらべうた胎教マッサージ 2日間コース

日時：4月25日(木)13:30～17:00、4月26日(金)9:45～17:00

会場：あかね助産院(大阪市城東区)

内容：わらべうたの音楽を使った新しい胎教です。赤ちゃんとの絆を深

めて、産後うつや虐待の予防を期待しています。また、自己マッサージにより、妊娠中に起こりやすいマイナートラブル予防します。実践型のマタニティクラス運営に取り入れてみませんか。

参加費：6万6000円(税別、認定料・テキスト料込)

申込方法：下記FAX、メール、ホームページから。

FAX 011-351-1630

✉ akane8@jyosansi.com

HP <https://www.jyosansi.com>

問い合わせ先：あかね助産院 奥田朱美

大阪市城東区鳴野西1-3-30

☎ 080-5711-3811

その他：受講者が胎教マッサージ資格講習会に3名以上を集めてくだされば、出張講習会を開きます。お気軽にご連絡ください。

日本助産師会 第92回通常総会・ 第75回日本助産師学会

日程：5月23日(木)～25日(土)

会場：小山市立文化センター、小山市立中央公民館、小山グランドホテル(栃木県小山市)

テーマ：複雑化する母子と家族を支える助産師力—たくさんの笑顔のためにできること

プログラム：

【5月23日(木)】

都道府県代表者会議専門部会集会(小山グランドホテル)

【5月24日(金)】

通常総会(小山市立文化センター)、懇親会(小山グランドホテル)

【5月25日(土)】

第75回日本助産師学会(小山市立文化センター、小山市立中央公

民館)

特別講演「周産期医療・保健における医師と助産師の連携(仮)」海野信也(北里大学医学部産科主任教授、北里大学病院院長)／教育講演「複雑化する母子と家族を支える助産師の心のケア—母性看護専門看護師の役割と実践(仮)」浅野浩子(山梨大学大学院、母性看護専門看護師、助産師)／シンポジウム「複雑化する母子と家族への包括的支援—これからの産後を考える」／市民公開講座「子育て、母親のこころの健康等の支援」水島広子(元衆議院議員、精神科医、水島広子こころの健康クリニック院長)／ランチセッション「緊急集会!『乳腺炎ガイドライン』を考える(仮)」／ポスターセッション

問い合わせ先：学会事務局(第75回日本助産師学会実行委員会 成田伸)

〒329-0491 栃木県下野市薬師寺3311-159 自治医科大学看護学部

✉ maternity@jichi.ac.jp

日本地域看護学会 第22回学術集会

日程：8月17日(土)～18日(日)

会場：パシフィコ横浜・会議センター5階(横浜市西区)

テーマ：おたがいさまを基軸にした健康なまちづくり—コミュニティ・エンパワメントにおける看護職の役割

プログラム：

【8月16日(金)】

キックオフセミナー「あなたもできる! 質の高い保健師活動」吉岡京子(国立保健医療科学院生涯健康研究部公衆衛生看護研究領域主任研究官)、笠真由美(杉並区保健

福祉部子ども家庭支援担当課長)
【8月17日(土)】

学術集会会長講演「地域組織活動からなるコミュニティ・エンパワメント—保健師活動の視座から(仮)」金子仁子(慶應義塾大学看護医療学部・健康マネジメント研究科教授)／特別講演「地域のサステナビリティとコミュニティ政策」小島聡(法政大学人間環境学部教授)／教育講演Ⅰ「医療制度改革と地域包括ケア」二木立(日本福祉大学相談役)／シンポジウムⅠ「コミュニティ・エンパワメントの具現化方策」／指定集会1「医療ケアの必要な子どもの生活支援」木村やよい(衆議院議員), 気切っ子の会 小さな羽(保護者代表), 遠藤幸子(埼玉県立越谷特別支援学校)

【8月18日(日)】

シンポジウムⅡ「地域包括ケアにおけるITの活用」／教育講演Ⅱ「グローバル社会における地域看護活動—日本に暮らす外国人の方々への健康支援」小林米幸(小林国際クリニック院長)／指定集会2「子育てにやさしいまちづくり」有沢貴美栄(横須賀市こども育成部こども健康課すこやか親子係係長), 鈴木佳奈(福島県会津坂下町福祉健康班健康増進係)／指定集会3「産業保健における看護職の役割」荒木田美香子(国際医療福祉大学小田原保健医療学部副学部長), 渡辺哲(神奈川産業保健総合支援センター所長), 猿山淳子(北地域産業保健センター)／指定集会4「がんと共に生きる人にやさしい社会づくり」大江浩(富山県新川厚生センター所長), 石井麗子(プラスケア暮らしの保健室), 瀬戸亜矢子(サノフィ健康保険組合健康推進セ

ンター)／市民公開シンポジウム「お互い様の心を伝える親育ち支援」田中哲(東京都立小児総合医療センター副院長), 原田正文(大阪人間科学大学副学長, 資格認定機構日本BPプログラムセンター代表)／共催ランチョンセミナー, 一般演題(示説), ワークショップほか
参加費:

【事前登録】会員1万1000円, 非会員1万2000円, [当日登録]会員1万2000円, 非会員1万3000円, 学生(大学院生を除く)3000円, [1日のみ参加(事前・当日とも同一料金)]会員6000円, 非会員7000円,

事前参加申込締切:

6月28日(金)

演題・ワークショップ申込締切:

3月1日(金)

問い合わせ先: 運営事務局

☎052-882-9612

✉jachn22@yupia.net

🌐http://jachn22.yupia.net/program.html

日本看護歴史学会 第33回学術集会

日程: 8月31日(土)～9月1日(日)

会場: 日本赤十字看護大学(東京都渋谷区)

テーマ: 高度実践時代の到来に向けて看護と専門職の歴史を考える

プログラム:

【8月31日(土)】

会長講演「歴史に見る看護の専門職化のプロセス: 高度実践と役割拡大に焦点をあてて」川原由佳里(日本赤十字看護大学)／教育講演「日本の高度実践看護の始まり, 今, そしてこれから」岡谷恵子(日

本看護系大学協議会)／招聘講演「The Evolution and Future of Advanced Practice (仮)」Julie Fairman(ペンシルバニア大学)／シンポジウム「高度実践時代に向けて看護と専門職のこれからを考える」話題提供: 塚本容子(北海道医療大学), 峯川浩子(常葉大学), 宇佐美しおり(熊本大学)

参加費: [事前登録] 会員7000円, 非会員8000円, [当日受付] 会員8000円, 非会員9000円, [学生(大学院生を除く)] 500円(当日学生証を提示), 懇親会参加費: 4000円

事前参加申込締切:

6月28日(金)

一般演題登録期間:

4月30日(火)まで

詳細: 学術集会ホームページ

🌐http://33jsnh.com

問い合わせ先: 学術集会事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾

4-1-3 日本赤十字看護大学内

✉33rdjsnh@redcross.ac.jp